

た。病理組織学的には巨細胞を伴う浸潤性腫瘍で、悪性腫瘍を疑われたが、決定診断に達し得なかつた。術後経過観察中に鼻入口部に術前のものとよく似た褐色の隆起を認め、次第に増大する傾向にあるため、2カ月後に腫瘍摘出と植皮整形を行なつた。組織的には前回と同種の腫瘍で、その一部にいわゆる junctional change と色素顆粒を認め、若年性メラノームの診断に達し得た。第1回手術後2年を経過した現在、再発の兆はみられない。

22. 下咽頭および頸部食道癌の照射法の検討

(放射線科) 島津フミヨ・○池田 道雄・池田智恵子

(目的) 下咽頭癌または頸部食道癌の放射線治療における照射方法は、前方からの斜2門、または左右両側から2門宛の照射法が多く用いられている。しかし実際にこれらの方法を用いて治療しようとするとき、まずその位置決め、困難さと、次に果して全病巣に均等に照射されているかどうか、言葉をかえれば全病巣に亘つてほぼ等しい線量が与えられているか否かに幾何かの疑問を感ずることを否定し得ない。放射線治療においては、被照射病巣は端から端までできれば線源からの距離が同じであることが望ましい。したがつて先の疑問は、頸から胸にかけての皮膚面の彎曲の変化の大きさと、下咽頭から頸部食道までの生理的彎曲に起因すると言ふことができる。

そこでわれわれはまず、1) 線源一病巣間距離を一定にすること。次に2) 皮膚一病巣間距離を一定にして照射し得るような簡便な方法を検討することを試みた。

(方法) 1) 患者が治療台上に仰臥した際の、輪状軟骨後部の高さから概ね第4胸椎体の高さまでの食道(特に矢状面における)の走行を、造影剤を使用し2方向撮影および廻転断層撮影を用いて調べた。2) 適当な装具の使用で下咽頭から頸部食道までをほぼ一直線かつ水平に矯正し得るか否かを検討した。3) 皮膚一病巣間距離を一定にするために、特別に装具を試作して水を入れ、Bolusの代用とすることを試みた。またこれが実用可能か否かを知るため、前方斜2門照射の場合の線量分布を作図法および等線量自記記録装置を用いて検討した。

(結果ならびに考按) 1) 背面皮膚から下咽頭、頸部食道までの距離は余り大きな差がない。

2) したがつて適当な装具を用いて体位を矯正し、下咽頭から頸部食道までを概ね水平にし得る。3) 水による補償でSTD法(線源病巣間距離を一定にして照射する)による照射が可能であることが知られた。

23. 女子尿道腫瘍

(泌尿器科) 梅津 隆子・吉田美喜子・

河野 南雄・○小熊トシ子

昭和39年7月より昭和42年6月までの3年間に、当科を訪れた女子尿道腫瘍(尿道ポリープ26例、尿道カルンクラ19例、尿道血管腫2例、尿道乳頭腫、尿道筋腫、原発性尿道癌各1例)について臨床的観察を試みた。

特に臨床的に紛らわしい尿道カルンクラと尿道ポリープについて述べた。

24. 教室における多発性骨髄腫の症例

(整形外科) ○仲西 輝夫・田中 博子・田中 稔彦

最近の1例は、歩行不能、左腸骨有痛性腫瘤と左上腕の腫脹と疼痛を主訴として来院。レ線学的、病理組織学的ならびに剖検にて骨髄腫と診断し、免疫電気泳動により、 γ G型骨髄腫と決定し得た。

症例は57才の主婦で、41年10月某大学病院整形外科を受診。悪性腫瘍の骨転移の疑いがおかれ、放射線治療を受ける目的で本院に紹介された。入院時は軽度の貧血、赤沈値の高度の亢進、A/G比の逆値、 γ -Globulinの増多、尿所見にてタンパク尿、Bence-Jonesのタンパクは陰性であつた。レ線像では、両側の上腕骨、肩甲骨、鎖骨、肋骨、大腿骨に骨萎縮と緻密質の非薄化、一部欠損を呈し、髄内には境界明瞭な限局性円形透明像、頭蓋骨には打抜き欠損像が見られ、骨盤、腸骨腫瘤部に一致して、大きい骨溶性の変化を認む。左上腕骨に病的骨折を見る。しかし反応性骨形成は認めない。診断確定のために、腸骨腫瘤部の骨穿刺を施行。病理組織学的診断は骨髄腫であつた。後日、左上腕骨骨折に対して、観血的整復固定術を施行、同時に骨折部に骨試験切除術を併せ行なう。骨組織片の病理組織学的診断にても同様の結果を得た。なおこの上腕骨病的骨折は、キンチャー髄内釘による約3カ月間の固定により骨性癒合を認めた。

今回演者らは最近経験した多発性骨髄腫につき、血清タンパク分画、免疫電気泳動、剖検所見について述べ、また過去に経験した症例と比較検討を行ない、若干の文献的考察を加えて報告した。

25. マイトマイシン大量衝撃療法に伴う2, 3の問題点について —骨髄移植を中心に—

(第二病院外科)

坪井 重雄・梶原 哲郎・井上 久司・

阿部 泰恒・○鎌田哲郎・丸野敏次郎

昨年5月演者らが発表したマイトマイシン大量衝撃療法の臨床、延命効果については、末期癌を主に既に繰り